



**2012年3月期第2四半期決算説明会**

***ALSO***

**総合警備保障株式会社(証券コード:2331)**

**2011年11月2日**

# 目次

---

<b>Section 1</b>		
第2四半期決算の概要	.....	2
<b>Section 2</b>		
今期の戦略の進捗状況	.....	35
<b>Section 3</b>		
通期見通し	.....	40

## Section 1

# 第2四半期決算の概要

## 損益の状況【前年同期比】

(単位：億円)	12/3期2Q累計	11/3期2Q累計	前年同期比 (差異)	前年同期比 (増減率%)
売上高	1,475	1,381	94	6.8%
売上総利益	364	361	3	0.8%
営業利益	63	68	▲5	▲7.3%
経常利益	72	76	▲4	▲5.8%
四半期純利益	28	35	▲7	▲18.5%

# 12/3期2Q決算数値への影響

## 1 東日本大震災

### (1) 売上への影響

- 機械警備 中断、解約の影響
- 常駐警備 解約分を臨時警備受注でカバー
- 警備輸送 影響少

(2) 特別損失 1.6億円（修繕費用等）

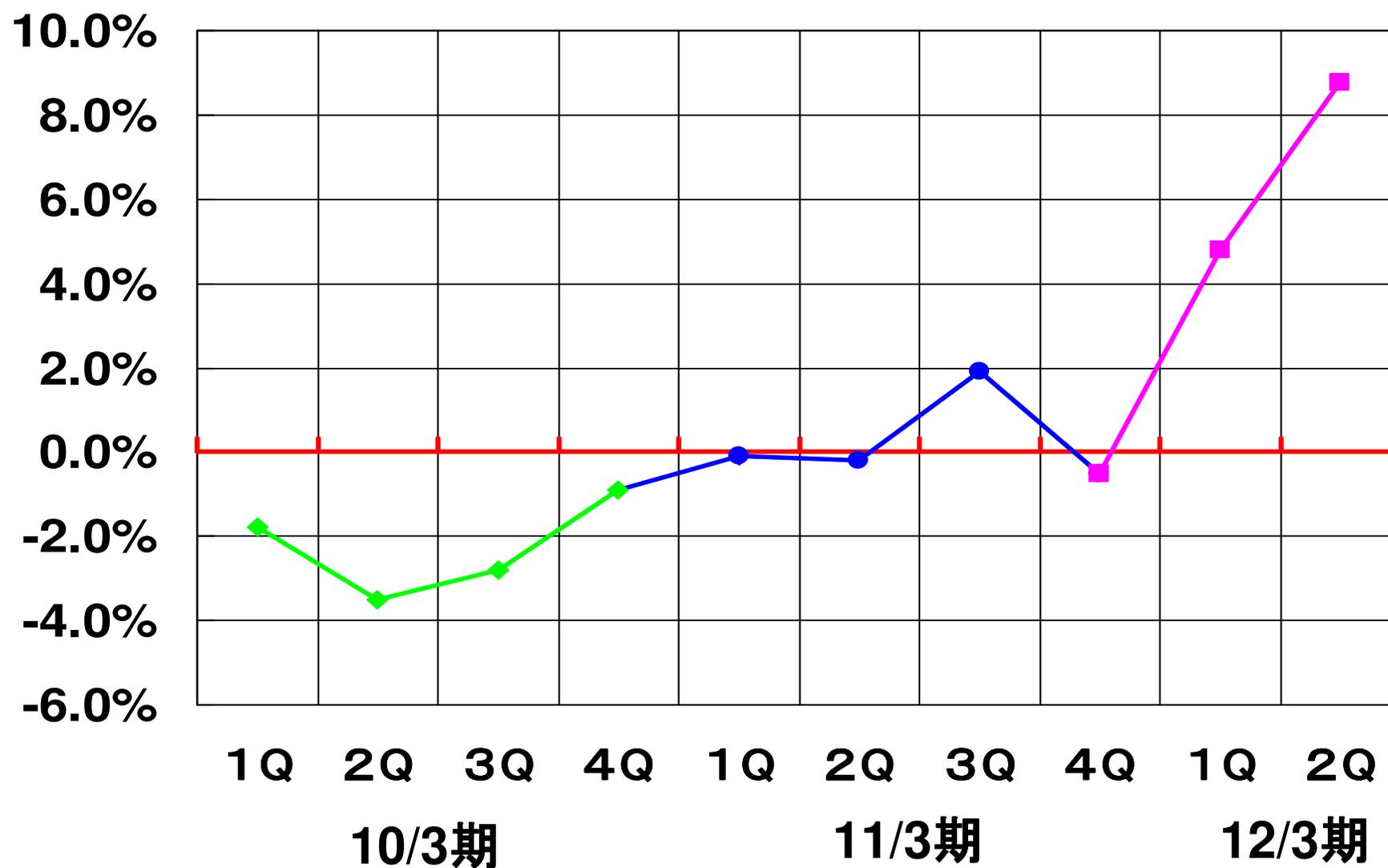
## 2 日本ファシリオ

	実績	計画	計画比
売上高	79億円	90億円	▲10億円
営業利益	▲4億円	0.5億円	▲4億円
経常利益	▲4億円	0.7億円	▲4億円

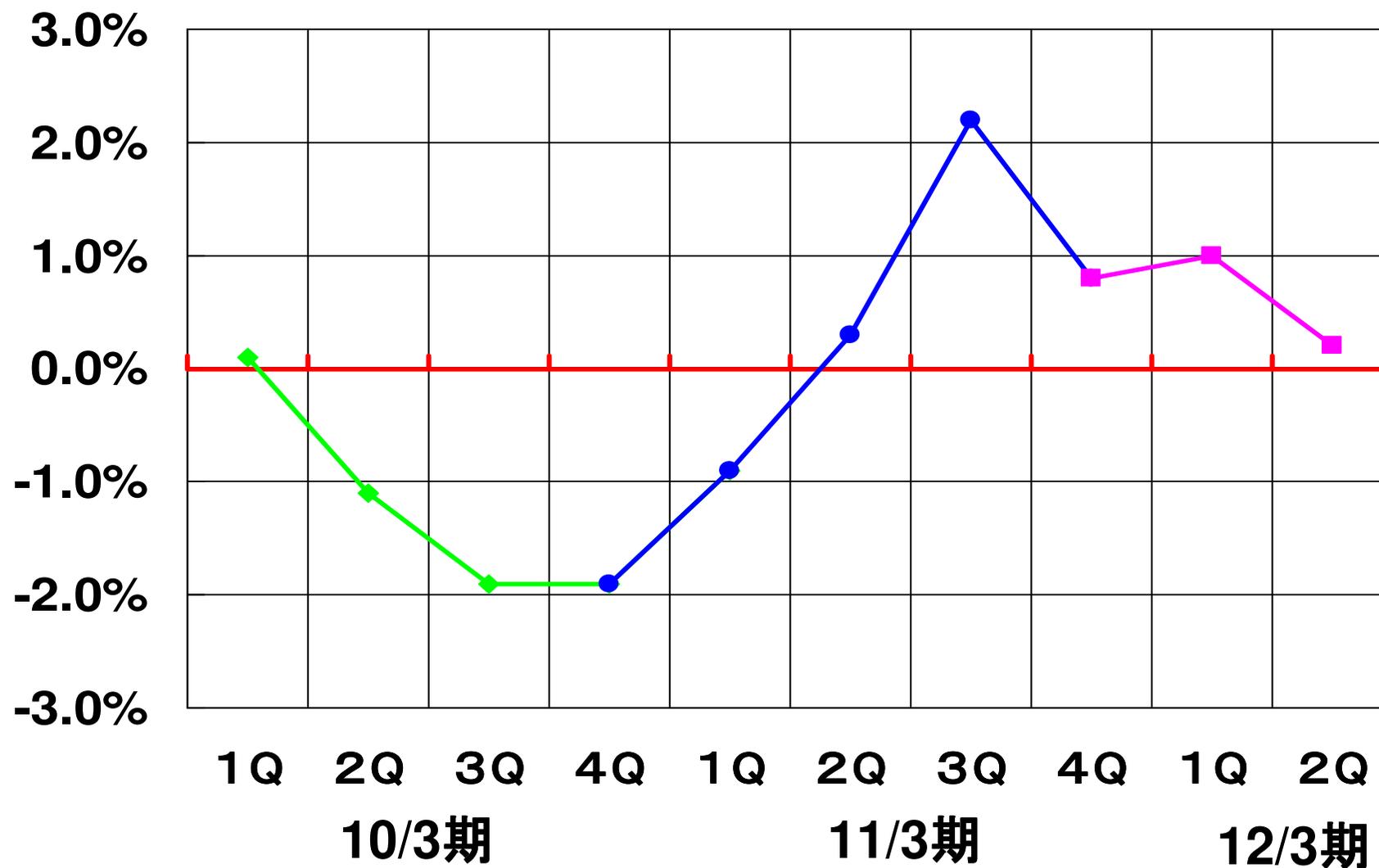
## 損益の状況【四半期別前年同期比】

(単位: 億円)	12/3期1Qのみ	前年同期比 (増減率%)	12/3期2Qのみ	前年同期比 (増減率%)
売上高	721	4.8%	753	8.8%
売上総利益	181	0.6%	183	0.9%
営業利益	29	▲9.6%	34	▲5.1%
経常利益	34	▲1.1%	37	▲9.7%
四半期純利益	15	4.4%	13	▲34.4%

# 売上高の推移【四半期別前年同期比】



# 契約収入(全セグメント)の状況【四半期別前年同期比】



## 損益の状況【計画比】

(単位：億円)	12/3期2Q累計	計画	計画比 (差異)	計画比 (達成率%)
売上高	1,475	1,489	▲14	99.1%
売上総利益	364	364	0	100.1%
営業利益	63	57	6	110.4%
経常利益	72	65	7	110.1%
四半期純利益	28	32	▲3	89.4%

# 機械警備業務の状況

(単位: 億円)	12/3期2Q累計	11/3期2Q累計	前年同期比 (差異)	前年同期比 (増減率%)
売上高 (構成比%)	690 (46.8%)	688 (49.8%)	2	0.3%

- 契約収入

前年同期比 0.7%減

- 工事収入

前年同期比 37.5%減

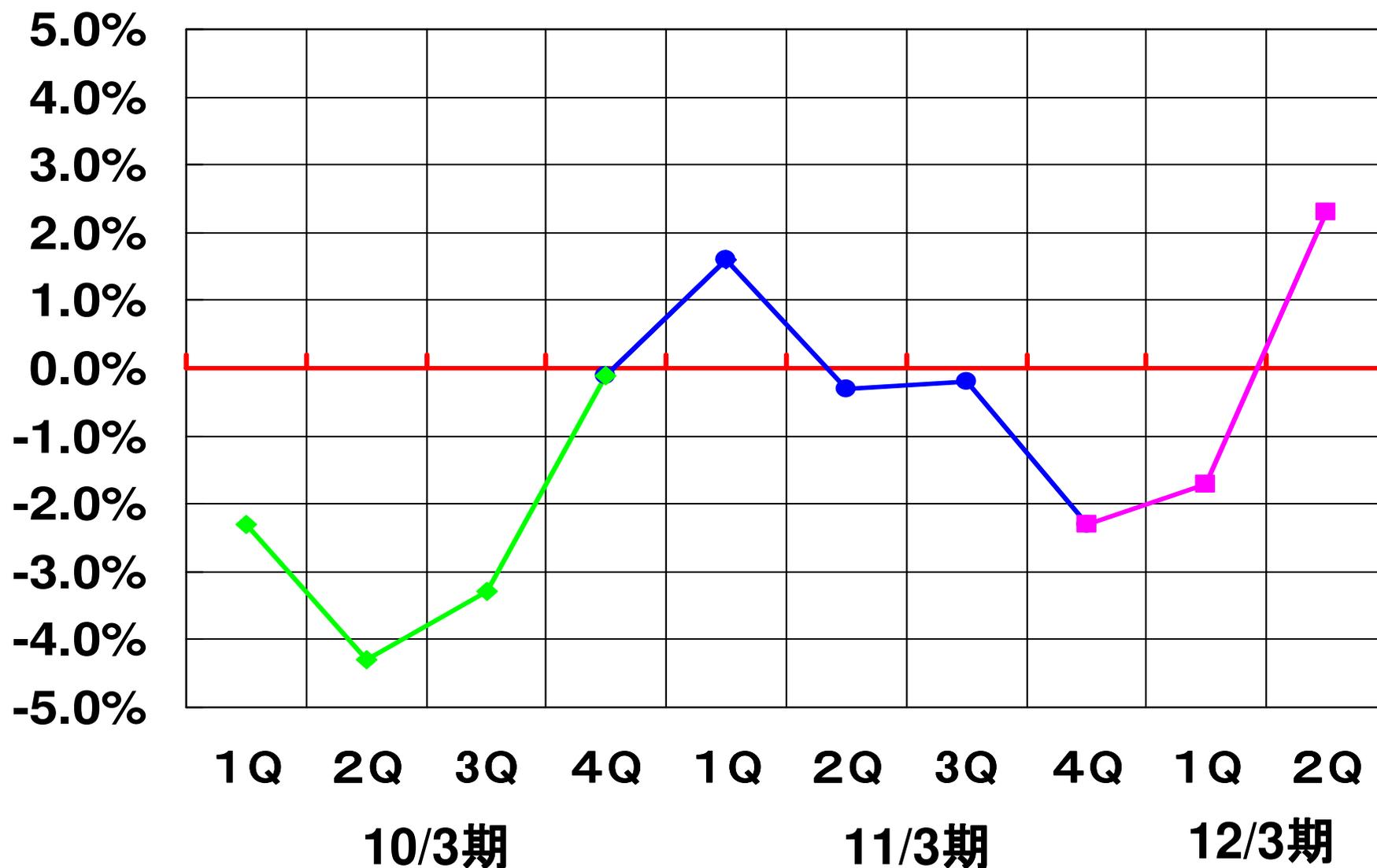
前期の大口カメラ工事の影響

- 売却収入

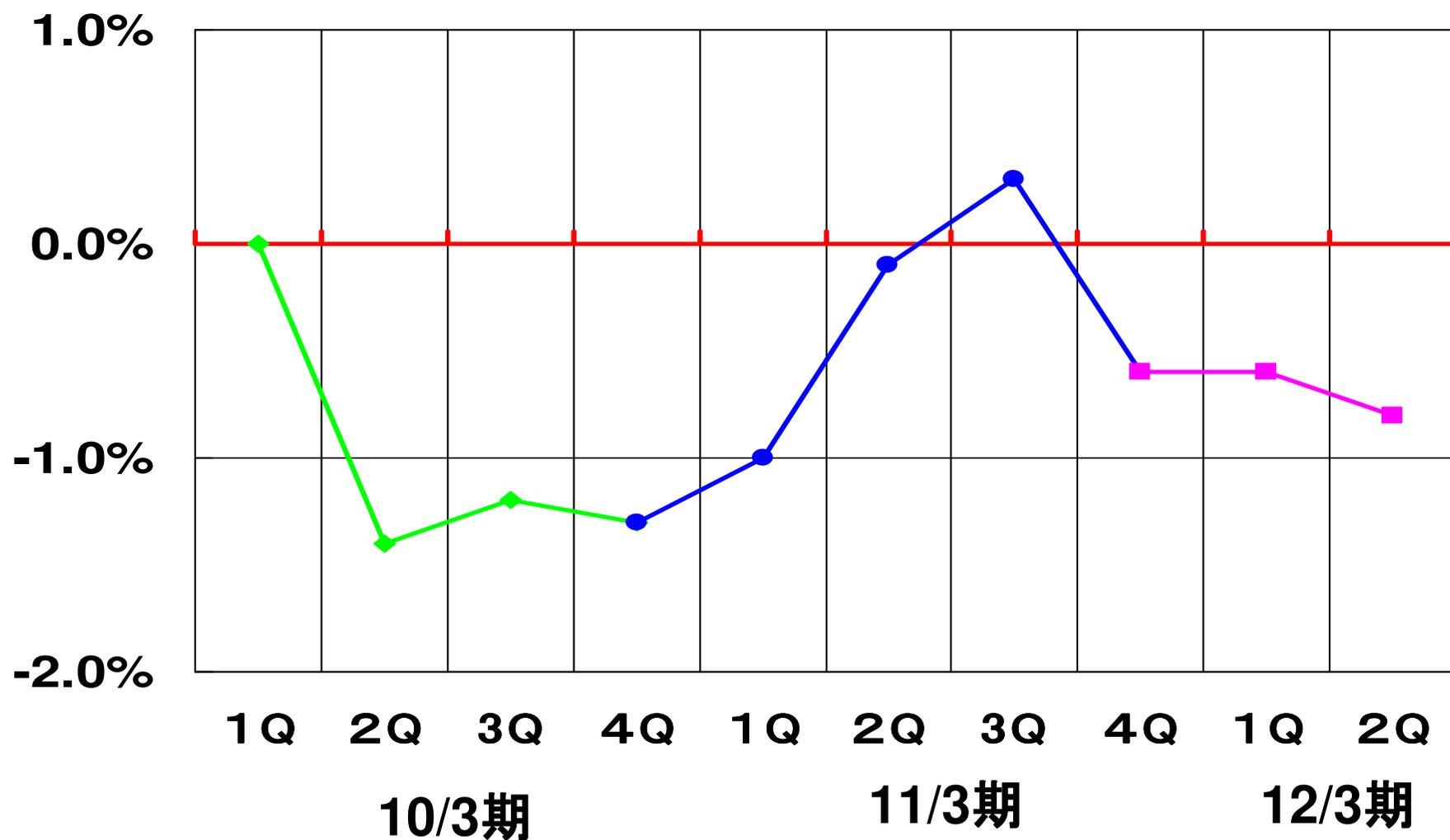
前年同期比 26.8%増

ハウスメーカー等との提携

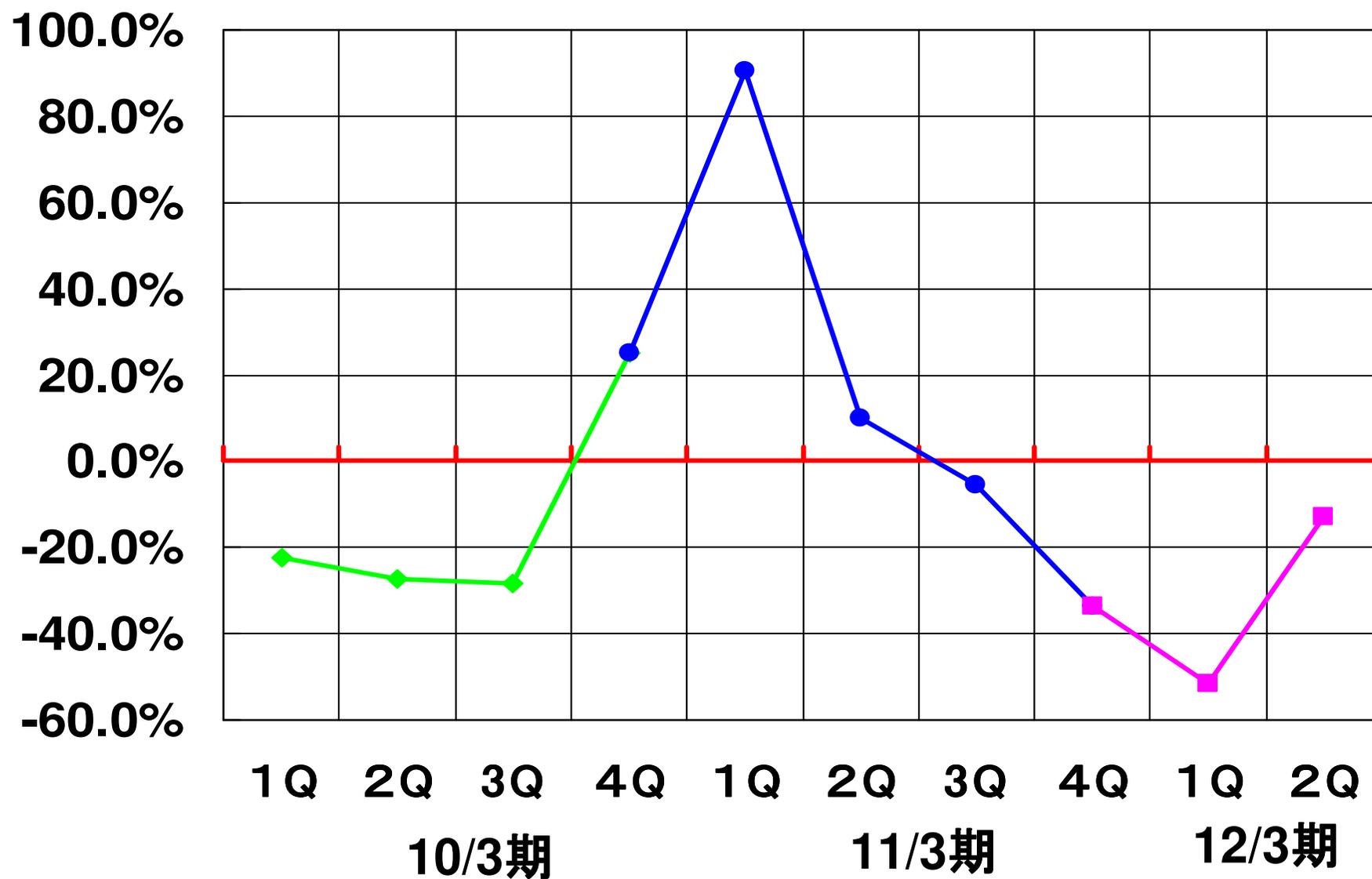
# 機械警備業務全体の売上高【四半期別前年同期比】



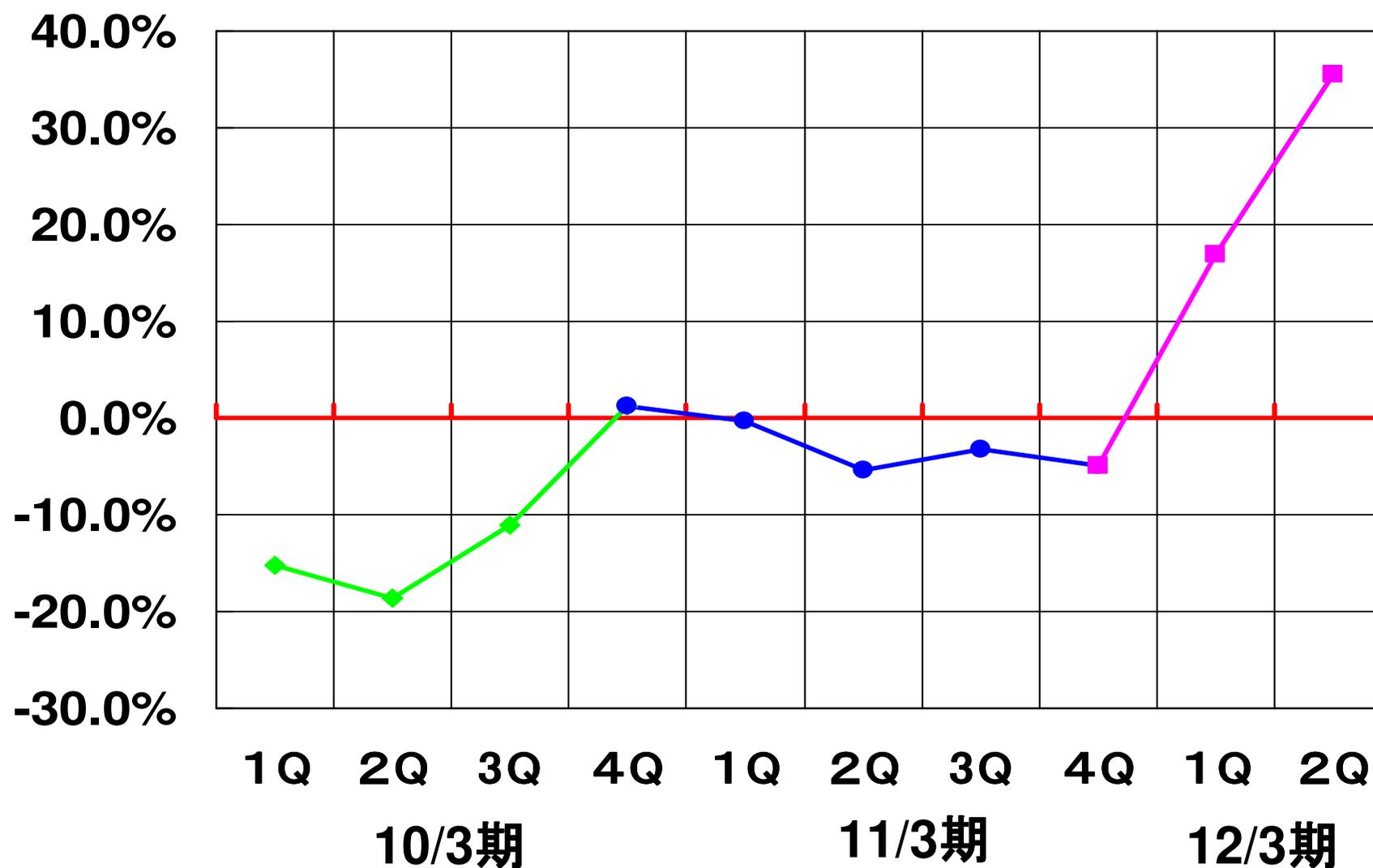
# 機械警備業務の契約収入【四半期別前年同期比】



# 機械警備業務の工事収入【四半期別前年同期比】



# 機械警備業務の売却収入【四半期別前年同期比】



## 【法人向け】機械警備業務の状況

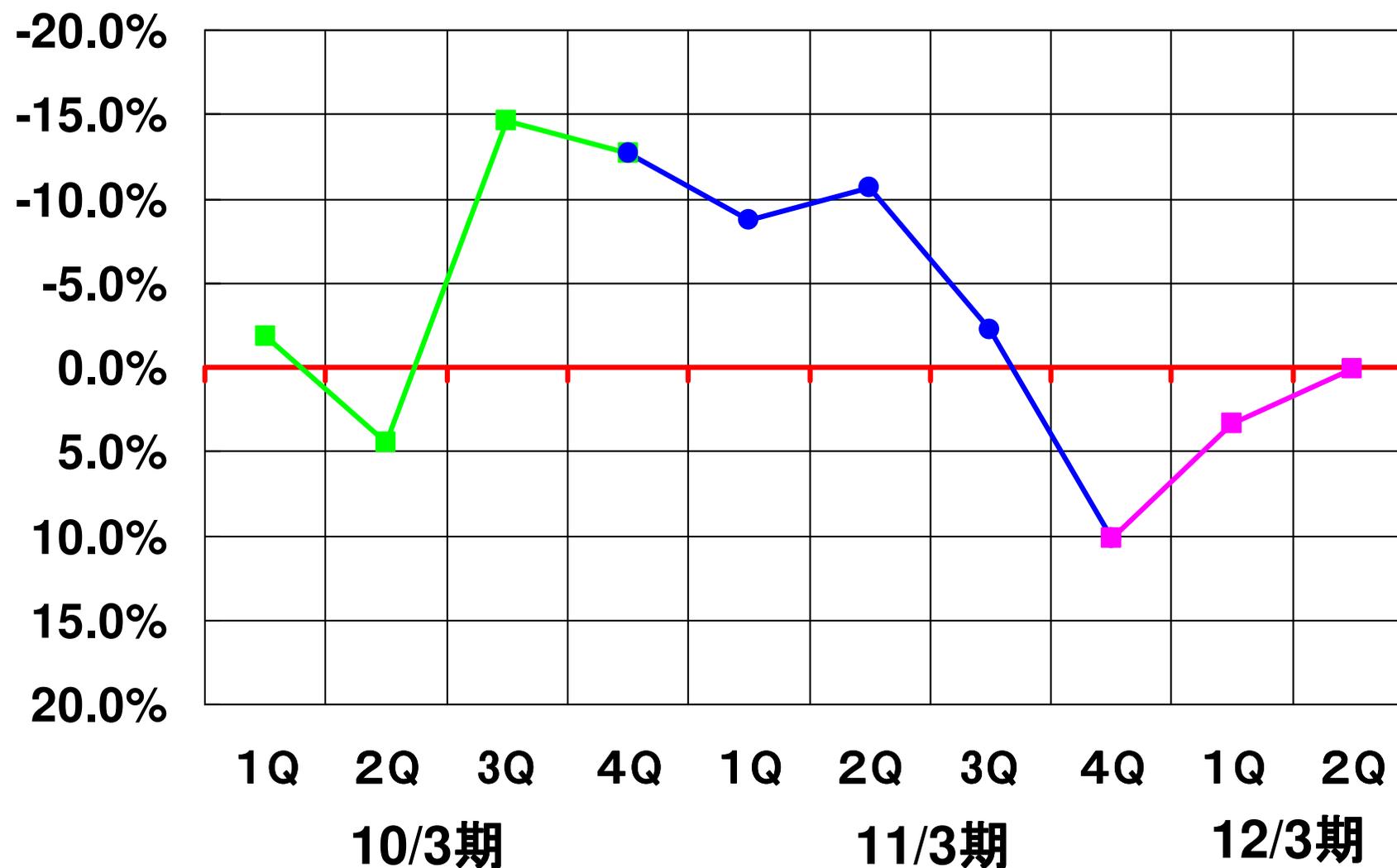
(単位: 件)	12/3期2Q累計	11/3期2Q累計	前年同期比 (差異)	前年同期比 (増減率%)
法人向け 純増件数	5,802	4,683	1,119	23.9%

### [ 法人向けの機械警備業務の状況 ]

新規受注件数 : 前年同期比増加  
 解約件数 : 前年同期比微増、解約率は低下  
 新規受注単価 : 前年同期比下落  
 値下げ額 : 前年同期比減少

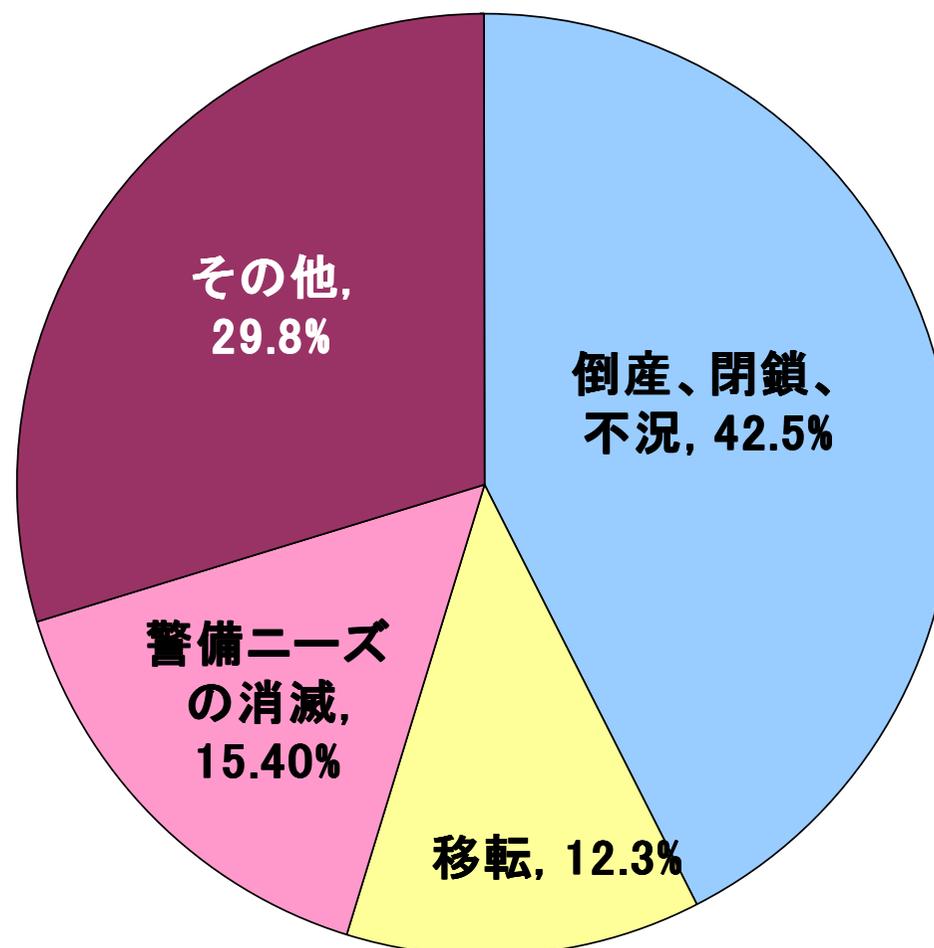
計画3,865件 達成率150.1%

## 【法人向け】機械警備の解約件数【四半期別前年同期比】

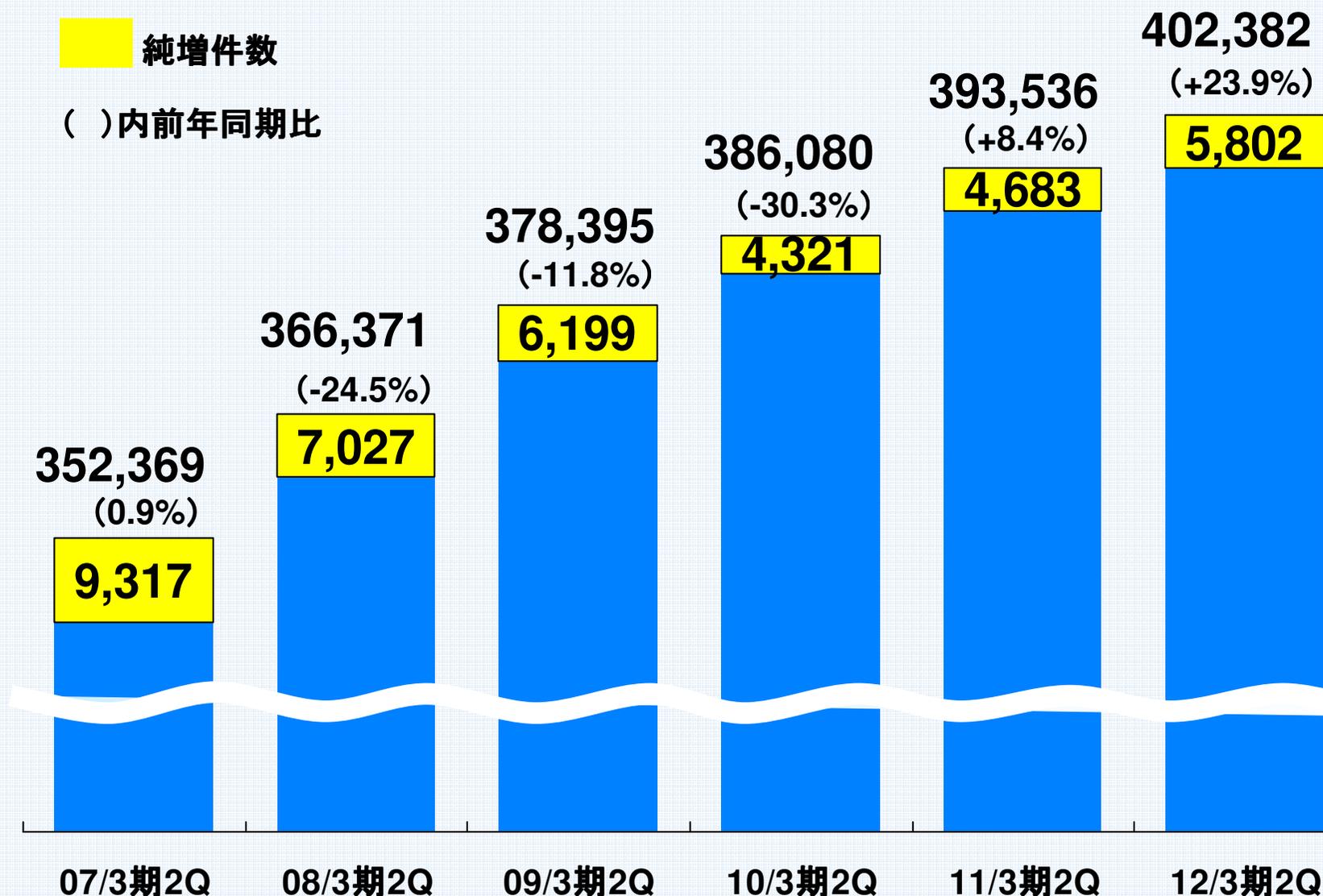


# 【法人向け】機械警備業務の解約理由

## 12/3期2Q



## 【法人向け】機械警備契約件数の推移



## 【個人向け】機械警備業務の状況

(単位: 件)	12/3期2Q累計	11/3期2Q累計	前年同期比 (差異)	前年同期比 (増減率%)
個人向け 純増件数	8,583	4,614	3,969	86.0%

### [ 個人向けの機械警備業務の状況 ]

新規受注件数 : 前年同期比増加

解約件数 : 前年同期比増加

新規受注単価 : 前年同期比下落

計画5,778件 達成率148.5%

# ALSOKホームセキュリティαの実績

12/3期上半期での純増件数 10,900件

## [ プラン別比率 ]

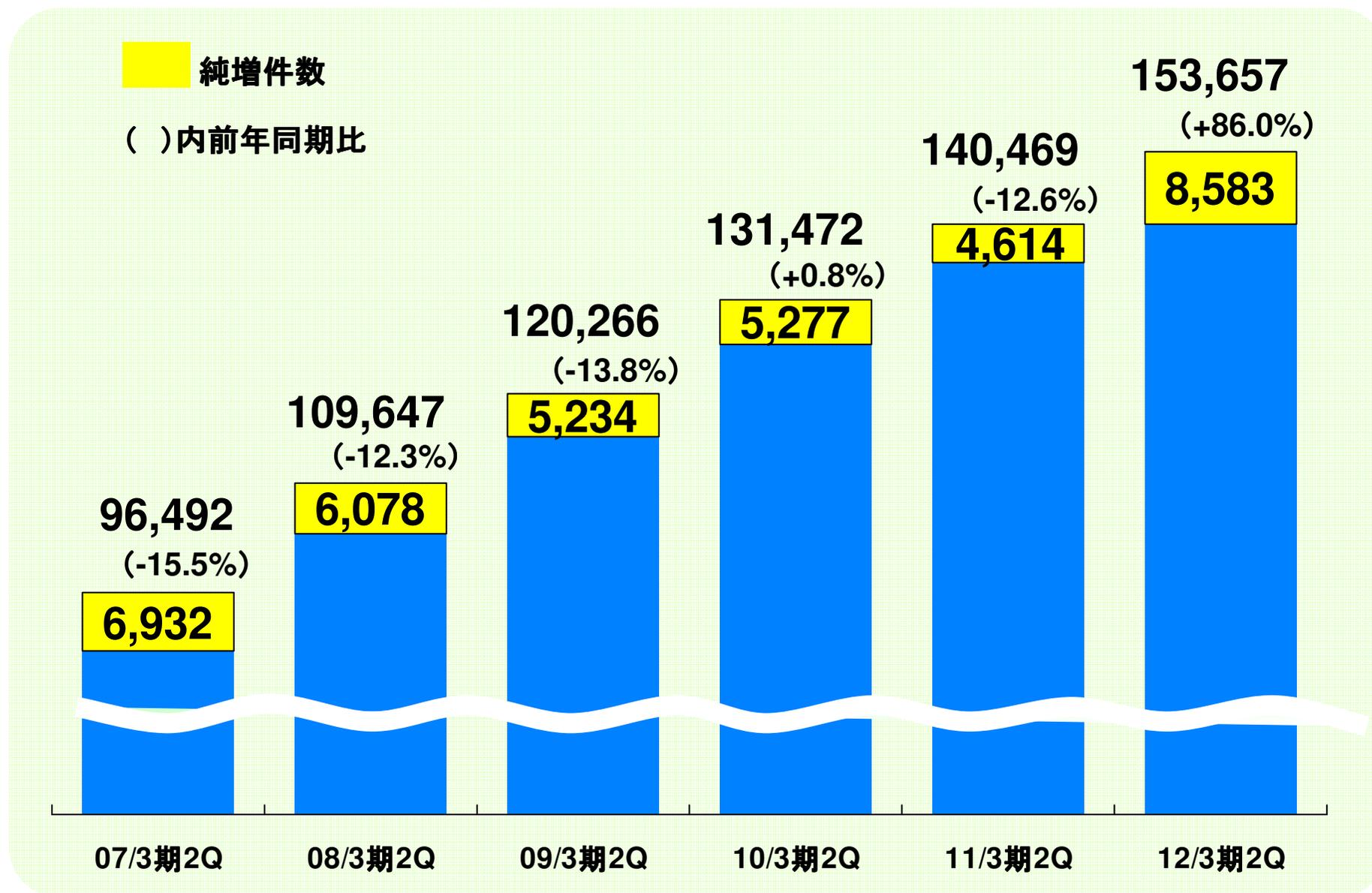
- ゼロスタートプラン 11.0%
- レンタルプラン 7.3%
- お買い上げプラン 81.7%



ALSOKホームセキュリティα

ハウスメーカー等との提携による受注は、  
すべて「お買い上げプラン」

# 【個人向け】機械警備契約件数の推移

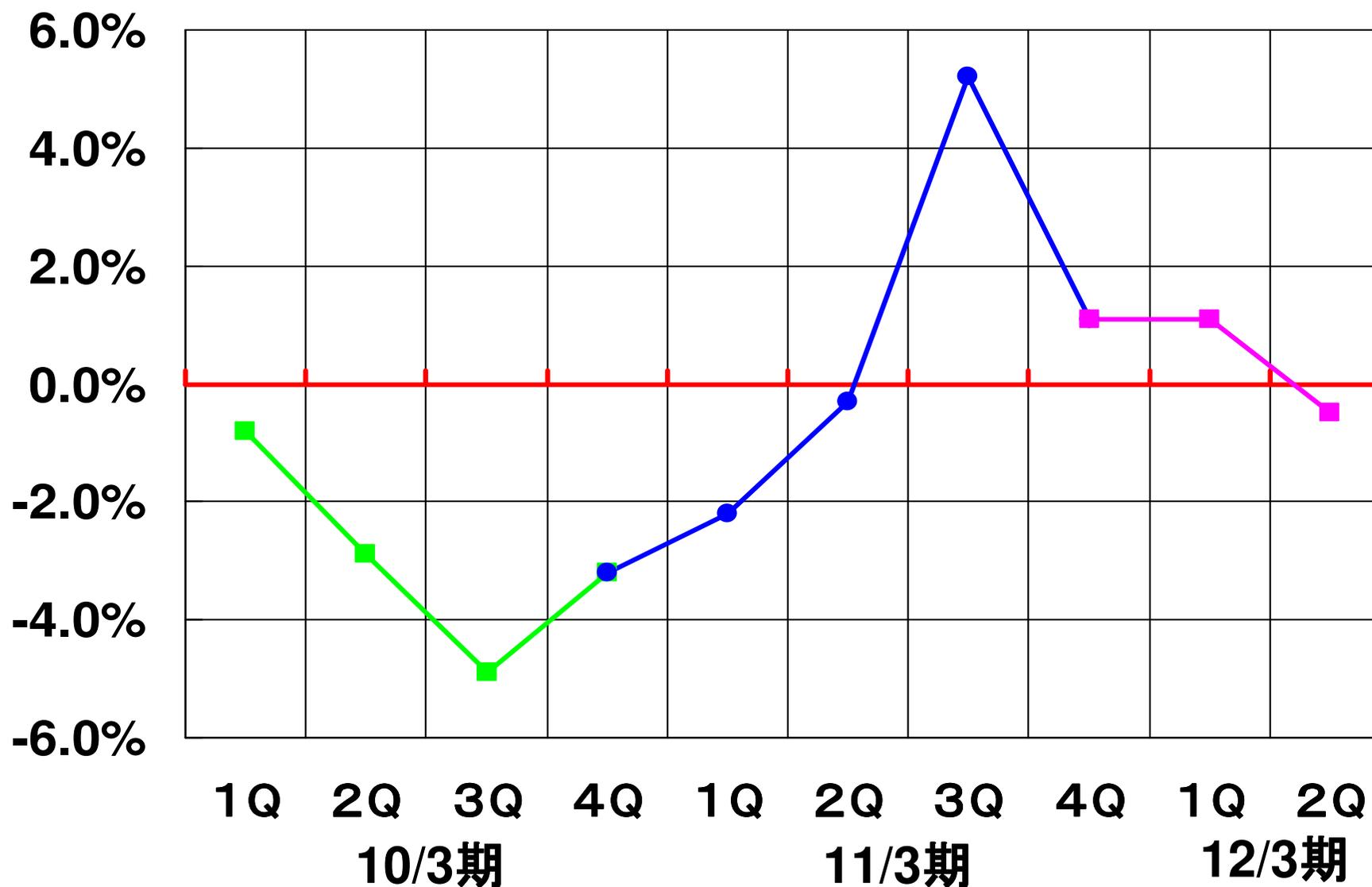


## 常駐警備業務の状況

(単位: 億円)	12/3期2Q累計	11/3期2Q累計	前年同期比 (差異)	前年同期比 (増減率%)
売上高 (構成比%)	351 (23.8%)	350 (25.4%)	1	0.2%

- 解約 : 東日本大震災の影響
- 新規受注 : 金融機関等  
復興に伴う臨時警備
- 前期の影響 : 都銀移転に伴う増ポスト

# 常駐警備業務の売上高【四半期別前年同期比】



## 警備輸送業務の状況

(単位: 億円)	12/3期2Q累計	11/3期2Q累計	前年同期比 (差異)	前年同期比 (増減率%)
売上高 (構成比%)	246 (16.7%)	236 (17.1%)	10	4.3%

・新規受注 : 金融機関(ATM管理業務)

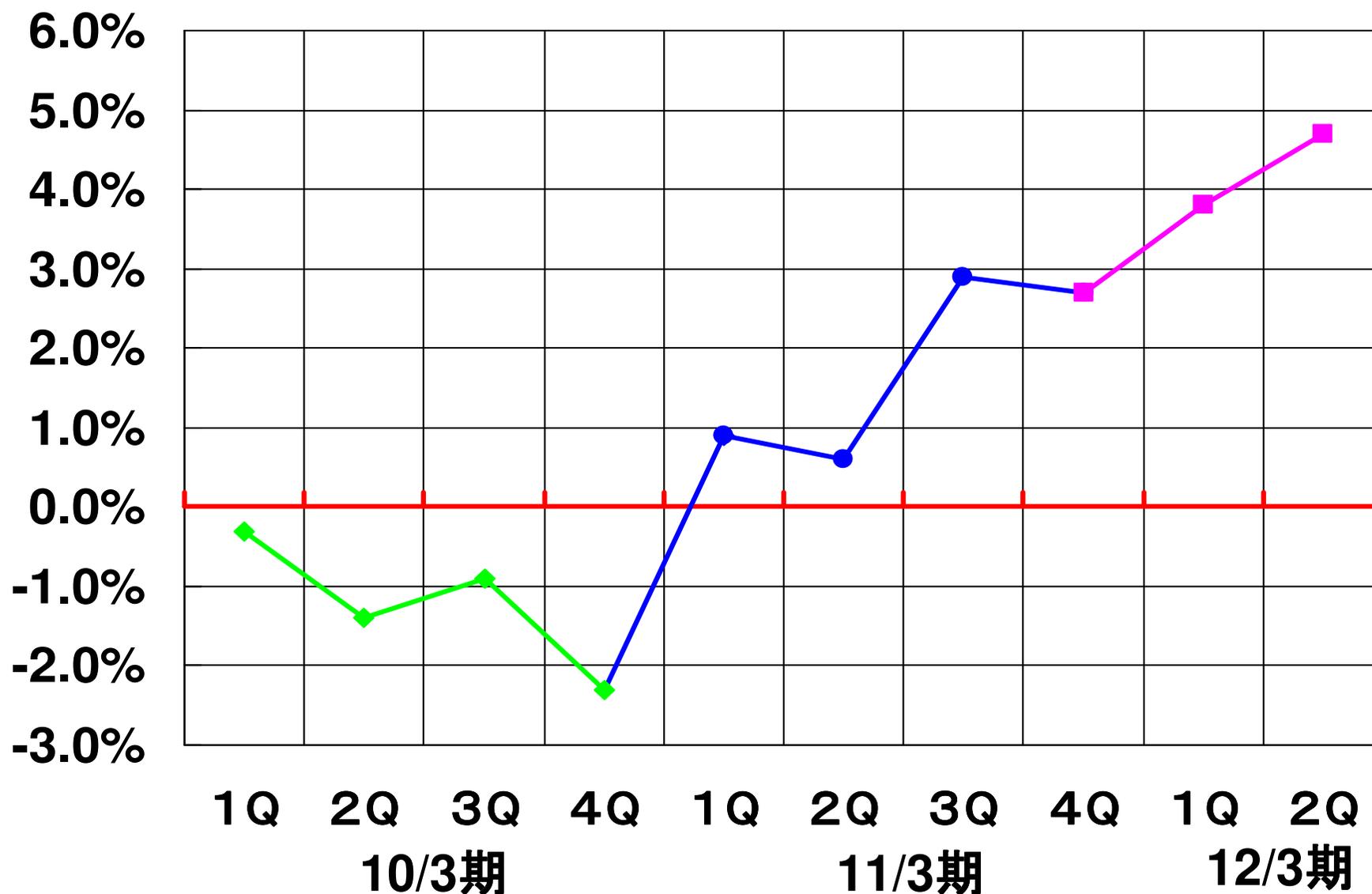
コンビニATM

純増 640台(前年同期比290台増)

入金機オンラインシステム

純増 480台(前年同期比130台増)

# 警備輸送業務の売上高【四半期別前年同期比】



## 総合管理・防災の状況

(単位: 億円)	12/3期2Q累計	11/3期2Q累計	前年同期比 (差異)	前年同期比 (増減率%)
売上高 (構成比%)	163 (11.0%)	83 (6.0%)	80	95.6%

・日本ファシリオの影響

・住宅用火災警報器

10.3万個(前年同期比3.4万個増)

・防災用品の販売

2億円(前期通期0.3億円)

## その他の状況

(単位: 億円)	12/3期2Q累計	11/3期2Q累計	前年同期比 (差異)	前年同期比 (増減率%)
売上高 (構成比%)	24 (1.6%)	22 (1.7%)	2	7.8%

AED(自動体外式除細動器)販売実績 4,660台

ALSOK電報

その他

## 業務別売上高の状況【計画比】

(単位: 億円)	12/3期2Q 実績	計画	計画比 (差異)	計画比 (達成率)
機 械 警 備	690	699	▲9	98.7%
常 駐 警 備	351	346	4	101.3%
警 備 輸 送	246	243	3	101.1%
綜 合 管 理・防 災	163	175	▲12	92.9%
そ の 他	24	24	0	101.1%
総 合 計	1,475	1,489	▲14	99.1%

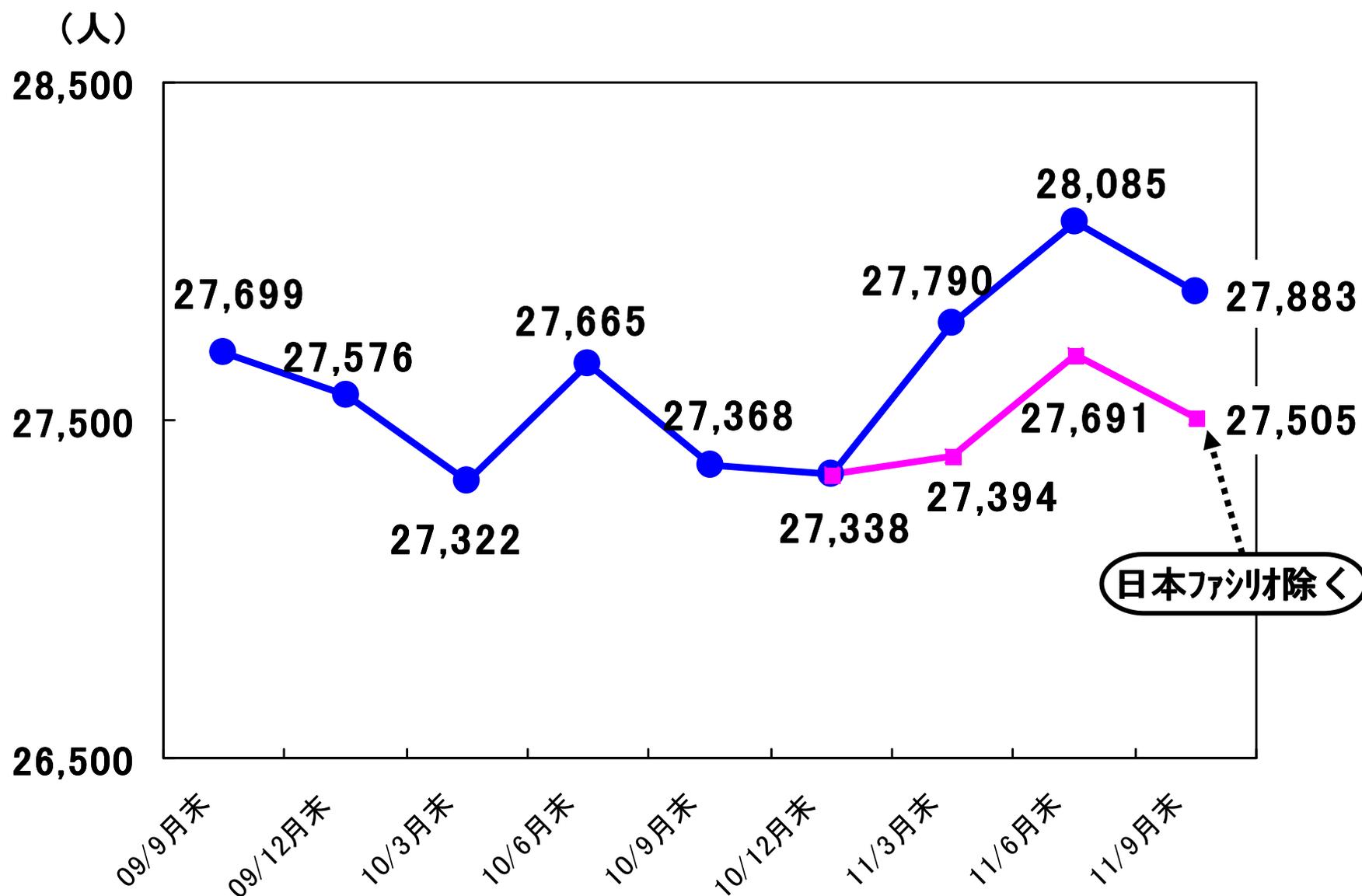
## 業種別売上高の状況

(単位: 億円)	12/3期2Q累計	11/3期2Q累計	前年同期比 (差異)	前年同期比 (増減率%)
金融機関	407 (27.6%)	388 (28.1%)	18	4.8%
事業法人	886 (60.1%)	811 (58.8%)	75	9.3%
官公庁・郵政	129 (8.8%)	132 (9.6%)	▲3	▲2.7%
個人	52 (3.5%)	48 (3.5%)	4	8.4%
総合計	1,475 (100.0%)	1,381 (100.0%)	94	6.8%

# 利益・費用の分析

2012年3月期2Q利益・費用の対前年同期比較		〔日本ファシリオ の影響〕	〔退職給付費用 の影響〕
売上高	+94億円 (前年同期比6.8%)	(+79億円)	
売上原価	+91億円 (前年同期比9.0%)	(+75億円)	(+3億円)
労務費	+10億円	—	(+3億円)
経費	▲1億円	—	—
売却・工事原価	+82億円	(+75億円)	—
販管費	+7億円 (前年同期比2.6%)	(+8億円)	(+2億円)
人件費	+8億円	(+5億円)	(+2億円)
広告宣伝費	▲1億円	(+0億円)	—
その他	+0億円	(+2億円)	—
営業利益	▲5億円 (前年同期比▲7.3%)	(▲4億円)	

## 従業員の状態【連結】



# 連結貸借対照表の状況

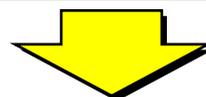
(単位:億円)

	12/3期 2Q	11/3期	前期末比 (差異)		12/3期 2Q	11/3期	前期末比 (差異)
<b>流動資産</b>	<b>1,470</b>	1,547	▲76	<b>流動負債</b>	<b>618</b>	717	▲100
現金及び預金	446	510	▲64	短期借入金	217	287	▲71
警備輸送業務用現金	571	576	▲6	その他	400	429	▲29
その他	453	459	▲7	<b>固定負債</b>	<b>498</b>	504	▲5
				<b>負債合計</b>	<b>1,116</b>	1,221	▲105
<b>固定資産</b>	<b>1,289</b>	1,296	▲7	株主資本	<b>1,490</b>	1,471	19
有形固定資産	597	595	3	その他の包括利益 累計額	▲44	▲42	▲2
無形固定資産	70	74	▲4	少数株主持分	197	192	5
投資その他の資産	620	626	▲6	<b>純資産合計</b>	<b>1,643</b>	1,621	22
<b>資産合計</b>	<b>2,760</b>	2,843	▲83	<b>負債純資産合計</b>	<b>2,760</b>	2,843	▲83

# 連結キャッシュ・フロー計算書の状況

(単位: 億円)

	12/3期2Q	11/3期2Q	前年同期比(差異)
営業活動によるキャッシュ・フロー	32	56	▲24
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲47	▲39	▲8
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲51	▲26	▲26
現金及び現金同等物の期末残高	373	364	9



## 12/3期の主な内訳

●営業活動によるキャッシュ・フロー	税引前四半期利益	68
	減価償却費	60
	売上債権の減少額	16
	仕入債務の減少額	▲34
	警備輸送業務に係る資産・負債の増減額	▲72
●投資活動によるキャッシュ・フロー	有形固定資産の取得による支出	▲40
	投資有価証券の取得による支出	▲15
●財務活動によるキャッシュ・フロー	長期借入金の返済による支出	▲18
	社債の償還による支出	▲11
	配当金の支払額	▲10

# 設備投資等

## 設備投資推移

(単位：億円)

10/3期2Q累計	11/3期2Q累計	12/3期2Q累計
43	58	47

## 減価償却費推移

(単位：億円)

10/3期2Q累計	11/3期2Q累計	12/3期2Q累計
59	58	60

## 研究開発費推移

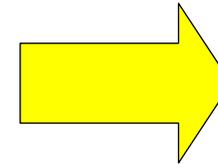
(単位：億円)

10/3期2Q累計	11/3期2Q累計	12/3期2Q累計
2	3	2

## ALSOKグループの対応

### 被災地復興に向けて継続的な協力体制を構築

- ボランティア活動延べ700名を超える支援活動を継続中。
- 義援金総額 1億円超
- 東北地区で約100名の採用。
- 被災地の特産品を購入
- ALSOK女子儀仗隊ビバーチェによる被災地慰問・楽器寄贈



多方面から  
感謝の言葉や  
感謝状を  
頂きました



## Section 2

# 今期の戦略の進捗状況

## 1 営業力の強化

### (1) 営業員の増員

### (2) 本社営業体制の強化

- フロント営業の強化

### (3) 営業員の教育体制の拡充

- 経験年数別専科研修
- スキル別専科研修

# 業績拡大施策

## 2 新商品・新サービス

### (1) ALSOK-GV

(ジーファイブ)



### (2) 災害対応関連の商品の投入



### (3) フェイスラウンゲート



## (4) ALSOKポケット

スマートフォンやタブレット端末を利用した「データ預かり」や「地震速報」等の情報を提供する生活支援サービス



## (5) ALSOK塾

社会人基礎力向上を目指す、独自のキャリア教育サービス



## 業績拡大施策

---

### 3 M & Aの推進

#### (1) 警備事業におけるシェア拡大

- ・ (株)ニッテツサービス釜石からの事業譲渡

#### (2) 事業領域拡大を目的としたM & Aの検討

### 4 海外進出

#### 駐在員事務所設立

インド [グルガオン] 2011年10月1日 設立

(ニューデリー郊外)

## Section 3

# 通期見通し

## 業績見通し

(単位: 億円)	12/3期計画	百分比(%)	前年同期比 (差異)	前年同期比 (増減率%)
売上高	3,018	100.0%	226	8.1%
売上総利益	720	23.9%	21	3.0%
営業利益	99	3.3%	▲5	▲4.1%
経常利益	112	3.7%	▲4	▲4.6%
当期純利益	53	1.8%	6	13.3%

## 配当額の推移

	10/3期	11/3期	12/3期 (計画)
1株 あたり 配当額	20円 (10円)	20円 (10円)	20円 (10円)
配当性向 (連結)	44.1%	42.7%	37.9%

※( )内は、1株あたり中間配当額

## 資料についてのご注意

---

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。

そのため、実際の業績につきましては、経済情勢・競合状況・技術革新等のさまざまな要因により、これら見通しと大きく異なる結果となることがあります。